第１章　調査概要

第１章　調査概要

１　調査の目的

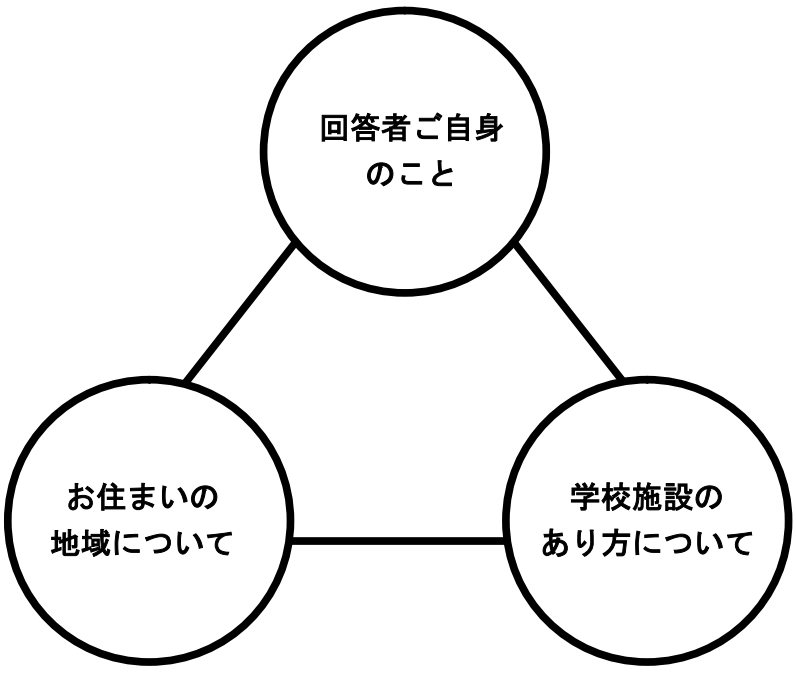
美馬市では、児童生徒数の減少に伴い、休・廃校が増加していくことが予想されており、学校施設の有効利活用が課題となってきている。このため美馬地区をモデル地区として、学校施設の利活用方法について、住民の意識・意向を把握するため、アンケート調査を実施した。

２　調査の視点

本調査では休・廃校後の学校施設の利活用方法について意見を把握するに当たり、前提となる回答者自身について、日頃からの学校との関わりや、考え方を把握する。また、さまざまな利活用に対する意向を裏付ける目的から、回答者のお住まいの地域の満足度や評価を把握する。

これらを参考資料としながら、学校施設のあり方に対する意向を分析する。

図表１－１　調査の視点



３　利用上の注意

グラフ中のｎは回答者の総数、クロス集計にある（　）内の数字は各項目の回答者数である。

小数点第２位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。

クロス集計においては、表側の項目は無回答を除いているため、合計した値は全体に一致しないものがある。

図表タイトルのＳＡはシングルアンサーの略で、選択肢から１つだけ選ぶ設問である。MAはマルチアンサーの略で、複数選択する設問である。ＦＡはフリーアンサーの略で、自由記入形式で回答する設問である。

図表１－２　調査概要

調　査　名	美馬地区　学校施設の活用に関する住民アンケート調査
調査対象	美馬市美馬地区在住で、20 歳以上の男女 2,000 名
調査方法	メール便による配布・郵送回収
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出。 ただし同一世帯から複数名の抽出がないよう配慮。
調査期間	平成 25 年 9 月 9 日～24 日（16 日間）
配布回収	配布：2,000 票 回収：　856 票（回収率 42.8%）
主な質問項目	①住まいの地区や、学校との関わりについて ②お住まいの地区の生活環境について ③学校施設の利活用に対する意向について ④性別や年齢等の基本属性

以下の標本誤差早見表は、無作為抽出によるアンケートの回答結果に含まれる誤差を計算したものである。

図表１－３　標本誤差早見表

区分	10% （または 90%）	20% （または 80%）	30% （または 70%）	40% （または 60%）	50%
856	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.1%
500	±2.5%	±3.4%	±3.9%	±4.1%	±4.2%
200	±4.1%	±5.5%	±6.3%	±6.7%	±6.8%
100	±5.8%	±7.8%	±8.9%	±9.5%	±9.7%
50	±8.3%	±11.0%	±12.7%	±13.5%	±13.8%